

図書だより



種子島中央高校図書館

「春告草」の別名は？

暦の上では立春を過ぎましたが、まだまだ風が冷たい日も多いですね。古くから梅は、春を真っ先に知らせる「春告草（はるつげぐさ）」として愛されてきましたが、実はもう一つ素敵な別名があるのを知っていますか？

梅は別名、「好文木（こうぶんぼく）」とも呼ばれます。

昔、中国の皇帝が熱心に学問に^{はげ}励んでいるときには梅の花が美しく咲き、逆に学問を^{おこた}怠ると花が散りしおれてしまったという不思議な故事に由来する名前です。「学問を好む木」なんて、なんだか今のみなさんにもってこいの名前だと思いませんか？2月は単元テストや検定試験、大学入試など自分の未来のために机に向かう時間が増える時期。中庭の梅も、みなさんの頑張りを応援してくれているはずですよ！

私がウグイスです。



ちょっと語彙力 UP！

昔の人は、春が来たことを知らせる植物や生き物のことを「春告〇〇」と呼びました。最も有名なのは「春告鳥（はるつげどり）」というウグイスの別名です。よく、メジロの姿を連想されがちですが、実際はくすんだ茶褐色の鳥です。ほかに、「春告魚（はるつげうお）」というメバルやニシンを指す言葉もあります。



あたら ほん 新しい本のおしらせ

★はリクエストです

- ★「変な地図」 雨穴
- ★「暁星」 湊かなえ
- ・「楽園の鳥」 阿部智里
- ・「龍の守る町」 砥上裕将
- ・「アフターユー」 一穂ミチ
- ・「食べる経済学」 大川哲
- ・「空想金融教室」 柳田理科雄
- ・「今さら聞けない日本政治の超基本」 朝日新聞出版編
- ・「成瀬は都を駆け抜ける」 宮島三奈
- ・「森にあかりが灯るとき」 藤岡陽子
- ・「保育はジェンダーを語らない」 天野諭
- ・「動物と仕事がしたい！」 河出書房新社編
- ・「一冊でわかる フィリピン史」 菅谷成子
- ・「トマトはどうして赤いのか？」 稲垣栄洋
- ★「夢い羊たちの祝宴」 米澤穂信
- ・「普通の子」 朝比奈あすか
- ・「彼の左手は蛇」 中村文則
- ・「殺し屋の営業術」 野宮有
- ・「教誨」 柚月裕子
- ・「オモシロ日本史」 河合敦
- ・「片手間PR術」 辻井啓作

ほか

特別貸出 はじまるよ

- ・2/24 (火)
~3/3 (火)
- ・5冊まで貸出OK
- ・返却期限は3/13(金)

3/4~11の間、高校の一般入学者選抜試験などのため、生徒のみなさんは自宅学習期間となります。この機会を利用して読書にも取り組んでみましょう！

甘いだけじゃない!?

チョコレートと物語

2月14日はバレンタインデーですね。でも、図書館が用意したのは甘いラブストーリーだけではなく、一口食べれば虜になるチョコレートのように、一度読み出したら止まらない、中毒性のある「ビターな本」もご用意しました。謎解きのスパイスや人生のほろ苦さを味わえる、少し危険で奥深い世界をのぞいてみませんか。

【ミルクチョコ級】

「和菓子のアン」 坂木 司

「アンちゃん」こと18歳のフリーター・梅本杏子が主人公の、デパ地下にある和菓子店が舞台のお仕事ミステリー。洋菓子のチョコも良いけど、和菓子の歴史に隠された「謎」もまた格別です。

【ビター級】★

「タルト・タタンの夢」 近藤 史恵

ビストロ「パ・マル」のシェフが、お客の持ち込む不可解な謎を、料理顔負けの手際で鮮やかに解き明かします。素敵な料理や、甘いデザートの中に隠された、人間の意外な本音にドキリとします。

【ビター級】★

「チョコレート・アンダーグラウンド」

アレックス・シアラー

「健康のため」にチョコレートが法で禁止されたら？チョコレートを取り戻すために闘う少年たちを描いた社会派の物語です。「すべての人に自由と正義とチョコレートを」!

【ビター級】★

「アーモンド入りチョコレートのワルツ」

森 絵都

ピアノの調べにのせて、青春の繊細な痛みを描いた短編集。どこか切なく、もう戻れない「あの頃」を思い起こさせるような3作品。音楽好きな人にもお勧めしたい1冊です。

【ビター級】★★

「チョコレートコスモス」 恩田 陸

対照的な二人の少女がオーディションでぶつかる様を描いた演劇小説です。「天才とは」「表現するとは」…芝居の面白さ、苦難、葛藤、そして孤独が混ざり合った物語です。

【ハイカカオ級】★★★

「夜空に泳ぐチョコレートグラミー」

町田 そのこ

「チョコレートグラミー」とはカメルーン原産の熱帯魚の名です。傷ついた人たちが、ままたらない現実の中、失ったものを再び見つけようとする姿を描いた連作短編集です。